

サイヤ人転生！～後の異世界転生を繰り返す一族の初代族長は救済
をして征く～

鈴山 龍之助

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ドラゴンボール世界に転生した主人公（鈴山一族初代族長）がバーダック夫婦の生存したりラディッツ死亡の回避等、色々としていく物語です。

ドラゴンボール超のルートを辿っていきます。

ビルスとウイス、大神官と全王は主人公が時空の歪みに巻き込まれて来てしまった時に顔合わせをしているため彼が転生後主人公が再び訪問してゼノバースでお馴染み時の界王神の許可のもと三人の生存の許可のも得ています

目次

1話	14
プロローグ	1

プロローグ

??は（転生したはいいがここは…？意識を集中させて周囲の把握をするか…まずは魂で両親の確認をしよう。）と考え周囲の確認をする。そこは尻尾の生えた人間？達がいて母親を確認すると隣には長髪の子供がいて??は（え？マジかあサイヤ人に転生でしかも主人公のカカロットとラディッツの間の兄かよお（汗）ただ自分を知ってるビルス様が、いる世界線ってことかな？でも俺がやることは変わらない、カカロットに両親がいる幸せを味わってもらわないと…）と考えつつ心に誓った。

エイジ735に誕生し彼はバーダックより授かった名前はクロウと名付けられ一年半後家族のみで集まっていたらクロウが「父ちゃん、母ちゃん、ラディ兄ちゃん話したいことがあるんだけど、いいかな？」と夕食前に言うと言とギネが「どうしたのクロウ？そんな硬い表情なんかしてそんな顔をされると困っちゃうよ？」と反応する。

そして全員が揃うとバーダックが「おいクロウ、ギネから夕食時に話があるつたがなんだ？早めに終わらせろよ。」と言うとクロウは「早くなるからわかんねえが、大事なことだから聞いてほしいな。」

俺は別の世界から生まれ変わってきた戦士なんだ、それでなんだがこの世界が本と言うか創作物になって父ちゃんと母ちゃんは、近々生まれるカカロットを遺して死んでしまうんだ。

でも、俺は生きててほしいんだ、弟に親のいない寂しさを味わってほしくないからよ。」と言うとラディッツが「なんでそんなことを話す？と言うより何かあるから、話したんじゃねえのか？」と聞く。

そうするとバーダックも「ラディッツの言う通りだな、なんか隠してるんじゃねえか？言えよ？」と睨むとクロウは「敵わないなあ、本来なら言いたくないんだが、昔この世界に時空の歪みで来ちゃったことがあって破壊神ビルスの知り合いなんだ。それと時の界王神ってやつにも会っててもサイヤ人に転生するってことになったら、父ちゃん達を生かさせてもらう許可ももらってるが、それ以外の歴史の流れを変えるつもりはないと話しているが。そして父ちゃん達の死

因は、フリーザの裏切りによる星の崩壊に巻き込まれたによる死亡なんだ。ラディッツはベジータ王子と共にいるため生存だったが、ベジータがフリーザへの反逆のためにカカロットを迎えに行かせて拒否したため殺しあい発展しカカロットと一度目の死亡だね。それと俺には特殊で魔法なるものがあるためラディッツ達には途中で記憶がよみがえるように記憶操作するって案があるけど…。」と話す。

それを聞いたバーダックが「なら崩壊の時にフリーザを倒すってことか？」と聞くとクロウは「それをしたら大幅な歴史改変になってしまうから絶対にしない。フリーザを倒すのはあくまで主人公でもあるカカロットがすることだ。だからカカロットを地球に送るの自分を作る宇宙船に爆発する瞬間に時空を操作して父ちゃん達を宇宙船に移動してもらって逃げるのを要検討してるんだ。」と話す。

それを聞いたラディッツが「じゃあ俺は、この話を封印されてカカロットにあつて死ぬのか？」と言うとクロウは「兄貴を死なせる分けねえだろ。止めるつもりだわ。」と反論するとバーダックが「ハッ、そんなことしたら俺が、バカ息子つて言いながら地獄まで行ってボコボコに殴るに決まってるだろが。」と言ったらラディッツは顔を真っ青にしていた。

そうするとクロウは「一先ず、フリーザの招集が発生したら俺とカカロットは脱出させるつもりでお願い。ここ数カ月は、廃棄エリアに行つて宇宙船の素材をゲットして製造し改造するが。」と話したらバーダックが「それじゃあ任せるから、ちゃんと作らんと許さんぞ。」と言うとわかつているよと返し話を終える。

それから、数カ月後カカロットが誕生しフリーザの招集がかかる前にバリアや認識障害の魔法を発動して宇宙空間を移動しているとフリーザと破壊神ビルスを見つけたクロウは「貴殿が宇宙の帝王フリーザ様ですか？そしてお久し振りですビルス様。」と挨拶をするとフリーザが「貴方は誰なのですか？ビ…ビルス様のお知り合いのようですが話を聞かせてもらえますかね？返答次第では…対応が変わりますよ？」と軽く威圧をする。

そう言われたらビルスが「お…お前は！まさか龍之助君か！久し振

りじゃないか！転生したってことはお前がいるだけで時の界王神からすれば常時歴史改変発生になるし細かい修正をしないといけなくなる。と嘆いてたのは置いといてまた料理番をしてもらいたいところだけど彼に説明をしてもらうよ。」と話すところクロウは「それぐらいお安いでご用ですよ。まずはビルス様がいるってことはフリーザさんが惑星ベジータを滅ぼしてサイヤ人を絶滅寸前まで追い込むをお願いしたって認識でいいんです？（ビルス様とウイスは肯定する）」

フリーザ様にも含めて話しますが先ずは自分？いや俺でいいか別世界でビルス様達と知り合った転生者の鈴山龍之助ことクロウと申します以後お見知りおき願います。

趣味は異世界の素材等で料理をしたり新たな食材で色々と試すをよくやってたり魔術なる異世界の技術等の実験も偶にしています。お願いは自分の家族等が惑星ベジータから脱出するのを見逃してほしいがお願いです。」と説明とお願いをする。

それを聞いたフリーザは「：異世界ですかあり得ない話しかもあれませんがビルス様がこの反応をしてるってことは事実でしょうから認めますが：誰の息子なんです？（そう問われたクロウは）「えっとバーダックとギネの次男です。」：困りましたね、あの優秀なバーダックの息子なんです。彼は下級戦士の出なのに驚異の成長速度でサイヤ人は私からすれば野蛮なサル共と思わざる終えない者ばかり多いのに彼だけは知的で優秀ですが、上司がああのベジータ王なのと口の悪さが残念でなりませんけどね。」

彼を引き抜いて強くなり反逆されたら私としても手痛いですが言葉遣いがいいとは言えませんから難しいところですけどね。」と反応するとクロウは「親父の言葉遣いの悪さは申し訳無いですがあれがデフォルトなので、ご了承願いたいですね。それとビルス様、異世界でこの世界が漫画やゲームになってるってのは以前話したのと漫画を全部見せたじゃないですか：ビルス様追加事項となりますが幻のスーパーサイヤ人ゴッドの覚醒条件がほぼわかりましたので説明を。」

純粋な善の心を持つサイヤ人五人を心を一人のサイヤ人に注ぐ要は気を送るって表現なんでしょうそれで覚醒できる？みたいですが

今やフリーザさんの言う通り野蛮なサルと呼ばれる程の悪人ばかりなので直ぐには無理ですけどね。原作通り我が弟でもある赤子のカカロットを遠い星に飛ばしてその生き残りに任せて放置が妥当みたいなので困りましたわ。」と説明しつつその後でフリーザに原作の説明も行った。

それを聞いたフリーザが「私が敗れる…だと殺したいところですがそこで貴方を殺したりしても意味がないでしょうしその彼が居なければ地球は勿論世界が大変なことになりそうなのであえて覚醒させるのも悪くはなさそうですね…ですが目下の問題はゲームとやらの別時間軸での暗黒魔界の者達によってキリとやらで私が操られるのは容認は出来ませんしバーダックさんが操られて仮面のサイヤ人にされるのもそうですが一番はその弟さんが生き残りがスーパーサイヤ人になれなければ魔人ブウの事件で取り返しが着かなくなるのであれば仕方がないですね…。」

取り引き材料としてビルス様と同じように料理をしてもらうか…惑星フリーザの厨房を見てもらうために私の船に時々でいいので乗ってもらいますよ。それと変装もしてくださいね、ベジータ王にバレルのはマズイですし。」と話す。

そうしたらビルス様が「まあ、クロウはこの世界では魔術と呼ばれてる君達で言うところの気とは別物の力を扱えるんだ、偽装や変装はお手の物だから心配しなくてもいいからよく観察してみるといいよ。」と話すとクロウ（龍之助）が「それでビルス様はドラゴンボール超等の作品通り何十年も寝るつもりなですか？（ビルス様は）「ん？寝ないよ？スーパーサイヤ人ゴッドの条件がある程度解ったから君と一緒に行動したり気紛れで食い歩きでもしようと思ってるからね。」やっぱりそうなりますわな…ん？あれって一人用のポッドってことはブロリー…：…チツ!?ベジータ王二世のクソヤロウ自分の息子より戦闘力が高いからってブロリーの流刑を執行しやがったか！許さねえぞごらあ!」とブチギレしてスーパーサイヤ人に覚醒をした。

それを見たフリーザが「これが祖先が恐れてたスーパーサイヤ人ですか…それよりもクロウさんは落ち着きましたよう？そんなことをし

なくても行き先はこちらで検索しますし惑星ベジータに戻って件の主人公を地球に送るようにバーダックさんに伝えるのと私の船に転移を行って待機してて下さいその間、スーパーサイヤ人を安定させるようにするのにトレーニングルームの許可をしますが入れないよう命じておきます。この事は箱口令でギニュー達の忠言は封殺しておきますからね。」と言うとスカウターで連絡をしたらオーケが出た為クロウが「感謝する。それじゃあビルス様また後でお会いしましょう。」と言うと魔法で瞬間移動をした。

そうして彼が惑星ベジータへ戻るとフリーザが「彼は恐ろしいですね：彼のデータは、一応確認してみましたが存在してませんでしたけどまだ十歳にもなってないのに言葉遣いもそうですが、風貌だけで見たら私よりも重みを感じましたよ(冷や汗を滴しながら言う)、さぞや長くそして濃密な経験をしてきたのでしよう私の父なんかよりもよっぽど重い威圧もしてきたり戦ってきたんでしようね。」

この世界での経験は未熟で私でも簡単に殺せるでしょうけど、〃本気の全力〃でだったら私の最終形態且つフルパワーの死ぬ覚悟と捨て身で辛うじて勝ち筋が見えるかもしれない位でしょうかね?」とビルス様に聞くと「よく見抜けたね。彼の本気の全力は僕に比べたら弱いけど君からすればほぼ確実に負け戦になるぐらい強いよ?」

けど彼は僕達神々の領域に至るために本気の全力は切り札いやジョーカーとして残すもりだろうし神の中でも会得が難しすぎるとある極意まで到達すると意気込んでるから油断しているとあつという間に超えられちゃうかもよ? 君の組織は悪だけど彼もまた指導者だった時期があるから、意気投合出来るかもよ?」と話すとフリーザは貴方は立場的に怖く感じますがけど、彼を気に入ってるみたいですしこの後話してみますよと言うと惑星ベジータに向けて移動していたらビルス様も自分の惑星へ戻っていった。

そうして話し合いを終えた頃クロウは自宅に戻ると「父ちゃんと母ちゃん、カカロットを地球へ送っておいてフリーザが集合を掛けたみたいだからそろそろだよ?」と声をかけるとギネが「わかったわ、クロウはどうして残ってるの?」と聞かれると小声で後で話すからバー

ダックも戻ってきたらカカロットこと孫悟空をポッドに入らせて地球へ送るにしたら巨大な気弾が惑星ベジータへ落ちようとしていると幻覚魔法で周りがサイヤ人と認識できないようにし時空間魔法で瞬間移動でフリーザの船に移動をしたらそこには既にフリーザがいて「取り引きは成功してよかったです、本音を言いますとサイヤ人は野蛮なので会って早々で失礼ですが死んでも嬉しいとは思いますが組織に良い影響を与えるのでは？」と考えていたので、脱出できたようでひと安心しましたよホッホッホッホッホ。」といい笑顔で話す。

そうしたらクロウは「死んでくれとも構わないは酷いですよ、此方も経営者の経験があるのは破壊神ビルス様より聞いてると思うので情報の共有をしたいのと調理をする者達はキッチンと手洗いうがいとかの厳しい指導についての細かい部分は後回しにしてエリートや確かギニュー特選隊のようなマスコットキャラクターみたいで実態はエリートを含めて上に行ける者達は資格持ちがいるかの有無と一般戦士等の者達は資格を得る為にや結婚や体調不良、出産の際に夫婦ともども休みを取れる制度などはありませんか？」と聞くとフリーザは「貴方もそこら辺にも気を配ってたんですね。そしたらそちらのいた異世界での資格についてを見せてもらってもいいですかね？此方も資料は大量に準備しましたからよく見ていってください。此方もじっくりと見極めたりしますので。」と言うと資料を保管したエリアに案内するとクロウも魔術で資料を大量に取り出して資料を漁りながら質問しあったりだしバーダックが「どうしてこうなったんだよ？敵であり殺しにかかったフリーザの野郎の元にクロウと来たかと思えばこんな状態とか把握できねえがその椅子に座ってるぞ。」と言うとクロウは寝てもいいよ母さん達と言うと問題ねえからゆっくりやってくれと返されたらフリーザもクロウも黙々と資料を見るのを再開する。

そうして数時間後フリーザもクロウも見終わったらフリーザが「ホッホッホッホッホ貴方のいた世界の地球の日本は大変多くの資格だったり免許があるみたいで色々と参考にしたり新たに導入出来そうなので感謝していますよ。」と喜ばしそうに話すとクロウも「そりや

よかったです、此方も考えさせられることが多くてよかったと感じますよ。」と答えて固い握手をする。

そうしたらギネのお腹がグウー…と鳴ってしまい顔が真っ赤になりフリーザとクロウは顔を見合わせてフツツと優しい笑みを浮かべたらクロウが「ご飯の準備をしないといけませんね…厨房への案内をお願いします。今日は自分の真心を込めて調理をさせてもらいますから。」といったらフリーザに案内されると調理人達に挨拶をしたら点検を手早く行ったらクロウが「それじゃあ異世界で開発したこの世界でも食材や衣料品等色々な物を購入できるし発送したり転送可能な術？で適当に見繕って調理するんで少々お待ちを。」と言うと食材を見繕ったら購入して鍋等を取り出して炒めたり煮込みを準備をする。

そうしたらバーダックが「おいクロウそれはなんだ？茶色いみたいな液体みたいだが…味付けに使うのはわかってるがよ。」と聞くとクロウは「これ？こっちの地球にあるかどうかさえ解らんし異世界の作品じゃ日本という地域があるかも不明だから説明は簡単にするがこれの名称は醤油と言って豆の一種大豆と麴と呼ばれる菌の一種と合わせて造られる味噌の派生した調味料の一種だよ。

菌ってのは体に害のある黒カビとかと同じ微生物で麴とかパンに使われる発酵菌は体に良いものだけど元は黒カビも微生物だから研究者じゃない自分には説明は期待しないでくれ。」と答えると調理を続ける。

そうして調理をしている途中でクロウは（親父は戦士タイプのサイヤ人だから大食いだけどフリーザは少食なのが解らんが一先ず多めここでビルス様が合流してきてもいいようにしてるが…足りるか？）と考えつつ大量のメニューを調理しているとフリーザが「フムフムフム…かなり多めを想定しているみたいですね、バーダックさんが戦士タイプで大量の食材の消費をしますが私がどれ程食べるかが解らなかつたのとクロウさんと関わりのある破壊神ビルス様もそれだけ貴方のご飯を気に入っていつ来訪があってもいいようにしているってところでしょうね。」

丁寧にやりながらも手際も良くそれでいて一つの品にかけてる時間も手早く終われるように一手間かけるのは見事ですね。」と高評価する。

そうして調理しているとクロウは「そうだ、デザートの仕込みもやっておこう。冷蔵庫で保管するにして：ここアイスとかの冷たい系にするかプリンとかにするなら卵の用意をするか。」と呟くとデザートを用意も始めるとバーダックはまたプリンを作るのかよ飽きねえなど反応したらクロウはじゃああパフェにさせてもらおうからと言ったらアイスクリーム等の用意も始めて数十分ほどでご飯をつくり終わると盛り付けをしてテーブルに並べるとフリーザが「とてもいい匂いが漂っていて早く食べたくなってしかたがなかったですよ。となるとそろそろ破壊神ビルス様がいらっしやても可笑しくはありませんから少しお話をしましょうか。」と言うとテーブルに座る。

そしたらクロウが「魔道具タイプの記録媒体及び機械に記録して保存させてもらいますね。理由としてはアレンジする際の参考や異世界に転生した時に仲間や家族にこういったのがあつたんだと話す為ですけど、全員写ってくれと幸いです。」と言うとフリーザは「ホットホットホッホ良く考えていますね、いいでしょう私も写らせてもらいますが、その原作での貴方の弟さん達との殺し合いの際は撮影しつつ私の強さが際立つようにしてくださいね。貴方はこうして食べさせてもらうので特別枠におきますから、例会として見逃しますからね。」と話すと言等したら破壊神ビルス様がウイスと共に現れる。

そしたらクロウが「ビルス様数日ぶりですね、今日はこんなメニューにしてみましたはどうでしょう?」と聞くとビルス様は「前みたいに砕けた言葉遣いでいいよ。これまた豪勢で大量に調理したね時間圧縮魔法で煮物を数日間の仕込みにしてるのが匂いでわかるよ。型崩れもしていないいいセンスだよ。」と褒めるとバーダックがバカ息子また反則魔法の使用してやがったのか!前から暴発したらどうするんだって言ってるだろ!と怒られるとビルス様がいいじゃないか、彼は気の操作はまだまだだろうけど魔法や魔術に関しては段違いに

上手いのは昔会ったときからわかっているからねと話すと父バーダックは渋々しようがねえなとぶつぶついいながら怒るのをやめた。

そうしたらクロウが「そしたら食べましょうかね、一応通常の数倍はあるんで問題ないと思いますが足りなければ魔法での分身術込みで直ぐにでも調理できるんで。」と話すとビルス様が「いやいいよ、今回はあくまでも初顔合わせの会食何だし何よりこの後からはお前には色々してもらいたいことがあるからね。」と言われたら会食を始め。

フリーザが一口食べたなら「これは！素晴らしい腕前ですよ！是非とも宇宙中に料理の素晴らしさや大切さを広めてもらいたいですよ！」と感激したように話すとクロウは「そう言ってもらえると助かります。別世界でもそうですが手洗いなしで調理しようとしているのを見たりしたら目上であろうと怒鳴ったりしてましたけど、今は反発されたら怒鳴る程度に留めてますけど厳しい言い方をするのは止めるつもりはないですけどね。」と話すとそれは当たり前ですね、泥だらけだったりしてる中でそれは相手に対して侮辱でしかありませんからねと答えて全員が同感だ肯定。

そうして全部（デザート込み）を食べ終わるとフリーザが「やはり全部を食べて感じたのは惜しい：ビルス様のサイヤ人抹殺をお願いされるのが数年：いや数十年近く後であればクロウさんを我が軍の厨房の管理者か私直属の料理人にしてた筈ですからね。」

非常に残念ですよ憎きサイヤ人であるを度外視しても優良物件ですしこのような人材はベジータ王の部下なのは相応しくありませんからね。」と話すとビルス様が「全くもって同感だよ。彼奴はずる賢い事を平気で行うような人間だったから清々しているぐらいさ。まあ宇宙一のベッドセットを自分が貰い僕に二位のを掴ませて殴り込んでやってベジータが父さんをいじめると怒ってたけど黙らせたのが懐かしいよ。」と話すとバーダックがあんなのが王様だったのが遺憾だと思ってたが息子のベジータはただ単にプライドが高いだけでしたと思っただがよと反応するとフリーザがその話し後で聞かせてくださいよ？と言うとクロウも俺もと反応した。

そうしたらクロウが「あのようなずる賢い奴の元は願ひ下げだしな
んなら反旗を翻して王家を乗っ取るぐらいしてもよかつたぐらいだ
がそれには暗殺と短期突破でもすればよかつただろうけどね。」

そうなる原作ブレイクからの時の界王神達もビツクリの歴史改
変と暗黒魔界の侵略だったり書類仕事の超多忙で過労死しかねんか
らしなかつただけだしね。

それに：フリーザと弟とかの原作に沿って歴史を進めた方が色々
と楽だがオリジナルキャラクターとオリジナル主人公の略のオリ主
宰の自分の存在がある時点で改変になってしまつてるだろうしイレ
ギュラー？そんなの無理矢理でも突破するだけですし。」と反応する。

その反応にビルス様はお前らしすぎて何も言えないけどベジータ
達原作主要キャラと関わらないようにしてもクロウが介入時は宇
宙空間から見るとしようかな、下手に地球に降り立ってしまったら
セルとやらの為に細胞を盗まれかねないだろうしね。

でも暗黒魔界の奴らいや歴史改变者のためにも君の魔術師として
の実力の発揮してもらおうけどねと話しクロウもまあ出来る限りでや
ろうとは思いますがと返答する。

そうしたらフリーザが「ではベジータには原作開始までは会わない
つもりでしょう？ならどうするのですか？此方に聞きたいことがあ
ればお答えできることはしますよ。」と言うとクロウは「採掘方法や
場所は知らないが、名称のみ知っている宇宙一堅い鉱石のカッチン鋼
をそちらの管轄にあるかどうかのとそれを掘らせてほしいので
すがいいかな？実験のためにも最優先事項で確保したいんですよ。」
と話すとフリーザは時間はある程度かかるでしょうけど発見したら
お伝えしますが暫く宇宙旅行でもするつもりなら、秘匿された連絡手
段として魔法の付与かイメージしたら出てくる魔導具を頂戴下さい
と言われるとクロウはそのための物ならいくつでも作成してありま
すからどうぞ、一応ですけど魔力や気を消費せずに使えますし周囲よ
りエネルギーを吸収したりも出来るし何かを購入等も出来るのでは
非見てみてくださいこれが細かく書いた説明書ですと言ひ全部を渡
すとフリーザは早速連絡端末の説明書を確認しながら動作のチェツ

クを始める。

そうして大方の確認を終えるとフリーザは「中々に出来がよくて手放せなくなりそうですよ。それでは発見したらお伝えしますのでお暇させてもらいますが今後とも仲良くさせていたいただきたいですよ。ホーホツホツホ。」と言うとウイスに連れられて転移していった。

それ十数年後に地球へ到着するとクロウが「やっと到着したか：我が弟いや主人公のカカロットはどうしているだろうか？」と呟くとバーダックが「けっ！覚えちゃいねえだろぜ？だからと言って会いたくねえとは思わねえけどな。」と話すと西の都へ向けて移動を始める。

そうして数十分後に西の都に到着するとカプセルコーポレーションに行くときクロウが「すいませんカプセルコーポレーション本社は此方でしょうか？お伺いしたいことがあるのですが、ブリーフ博士の娘さんのブルマお嬢様が昔旅をした時の知り合いについて聞きたいのですが？」と受け付けに声をかけると天下一武道会に参加した孫悟空さんですかね？少々お待ちくださいと言われると応接室に案内される。

そこから少しするとブルマがやってきて「貴方達が孫君について聞きに来た人達？って孫君：じやない！え！？傷があるー」と驚かれるとクロウが「驚かせてすまない：まあそれは置いといて名乗らせてもらいますね…。」

私の名はクロウ：宇宙人で戦闘民族サイヤ人の生き残りの一人だ、特徴は尻尾があるのと満月の夜に巨大なサルみたいな大猿に変化する種族なんです、隣の二人は孫悟空の両親で、私は彼の兄なんですよ。」と答える。

そうするとブルマは「う…宇宙人？その証拠は？でも…貴方が兄である証拠は？孫悟空って名前にしては不自然よ？貴方はクロウって名乗ってるのに彼だけ孫悟空なんて場違いよ？父が似た髪型なら別の名前をつけるでしょ？つい最近天下一武道会でマジユニアって名乗るピッコロ大魔の息子を倒してチチって人と結婚したばかりなのよ？」と話すとバーダックが口を開く「俺様の名はバーダック、お前らが孫悟空って呼んでるカカロットの親父だ、数十年前に宇宙で俺達

の星いやサイヤ人がある人物の命令で自分達の組織の上司に当たる奴が皆殺しにするよう言われたらしく息子は偶々ソイツの知り合いだったらしく俺と妻を生かすよう頼み込んだらしいが息子を生かすためにここに個人用の宇宙船で飛ばしたのがこの地球だったんだがよ：来るのに仕事をしたりで忙しくて数十年もかかってしまったがアイツはもう大きくなったんだな：大人になるまでの成長を見届けたかったから悔しいがよお。」と悔しそうにしながら話す。

そうするとブルマが「孫君とは真逆の性格なのね：それよりもクロウさんだったかしら？ 貴方はなぜその存在と知り合いなのかしら？ それよりも上司が部下を殺すなんて普通じゃないわ？ 聞かせてもらえるかしら？」と少し鋭い目でクロウを見ながら聞く。

そう聞かれたクロウは「うーん、どこから話すべきか：まあ宇宙は弱肉強食と言うのもあり強いものが支配する風潮が強くて親父達の仕事は別の星に派遣されてその人間達を殺してリゾート地にしたりして売って言う地上げを行う組織の大手のフリーザ軍と呼ばれてるとこの一員であったが：余りにも知的でないことから破壊の神より皆殺しにしろとそのフリーザに命じたんだよね。

自分がこことは違う世界から生まれ変わりその神と知り合いであるのとその世界では、孫悟空まあ弟が主人公のバトル漫画があったけど両親は死亡だったからバリアを纏ってその二人の対談に乱入して頼み込んでオーケーをもらって色々頼まれたりして両親も巻き込まれてしまったってこんな年数になってしまった訳ですよ。

だけどその漫画のはまだ序盤でしかないんですけど、どう頑張るのか眺めるだけで協力する気はないんですけどね：当のフリーザとは学者の開発に自分も立ち会い宇宙船やらの開発の仕方を教えてもらった時は確か：五年から十年の間でその後旅をしながら料理人をしてたんですよ。」と説明をする。

そうしたらバーダックが「バカ息子！ そう言いながら裏で何かしらの暗躍する気満々のお前がなに言ってるやがる！」と怒鳴られるとブルマが「え？…あ、暗躍？ ゴホン！ それよりも漫画って？ いやそれよりもまだ序盤だっていう説明をしてくれる？」とバーダックの反応が気

になり尋ねる。

そうしたらクロウが「まあまあ落ち着いてくださいな、別世界の生まれ変わりであり異空間からものを取り出したり手か水をだしたりする魔術師なるものなので漫画を取り出すので速読をしてくださいな。」と言い漫画を取り出すとブルマも急いで読みきるとブルマは「本当にその通りの流れだったわ。続きは見ないけど、貴方がいるとで恐ろしいことが起きないといいと思ってしまいわね…。」

取り敢えず近々、孫君が結婚式を挙げた後なのよ。

それとも今から孫君に会いに行かない？勿論、役所に結婚するのとは新居は建ってるから。」と聞かれるとそれなら是非とクロウが答えたから孫悟空宅に向かったのであった。

1話

を滅ぼされたのと自分の欲望が強いからなのもわかってますよ？

そもそもクロウさんは：伝説のスーパーサイヤ人に覚醒してますからねえ：彼と始めて出会ったのは破壊神ビルス様より私がサイヤ人を滅ぼすように言われた時に現れたんですよ。

その時に貴方の父は誕生した時に貴方より戦闘力が高いというだけで、流刑を実行して遠い惑星に飛ばしたのを目撃して激昂して覚醒したんです：貴方の父は野心家で狡猾なクズでしたから、貴方が幼少期に破壊神ビルス様を怒らせたリクロウさんからクズ認定されるんです：自業自得ですよ？ベジータさん、キレるのはお門違いですかね？」と忠告を受けるとナツパは頭は悪い方だと自覚しているがそれでもベジータ王子：これは擁護できねえぜ？フリーザ様の言う通り憎まれても仕方がないことだぞ？と言われてベジータも流石に父上が悪いが：破壊神ビルスの名は言わないでくれと顔を真っ青にしながら言われてとならそれ以上は言いませんよとフリーザも話した。

そうしたらラディッツが「……んで、フリーザ様はその話に参加するためだけに来た訳じゃねえだろ？」と言うとフリーザは「ええ……この前のゲーム大会及び抽選会ので良い卵がああの後で届いたんで異世界ネットスーパーみたいなやつで肉と卵、野菜を購入して焼き焼きパーティーを破壊神ビルス様の所へ行つてやらないか招待をしようと思つて声掛けをしに来たんですけど、しますよね？」と返答しつつラディッツに尋ねる。

ラディッツも「勿論、参加しますよ？クロウは：漫画の通り力カロットこと孫悟空の奥さん達にすぎ焼きを振る舞うでしょうし：フリーザ様はお肉のセレクトをするんですよね？なら俺は野菜のを選ぶほうがいいと思いますけどいいですよね？」と参加の了承をしつつ相談を持ち掛けるとフリーザも「ええ…野菜の目利きは貴方の方が慣れてますし私もそこは信頼してるので任せますよ…ビルスさんもそれでいいと了承するでしょうから私もネットスーパーで選ぶので、後でチャットの方に書き込みますよ？

今日は○○○世界等に住むクロウさんの親族のチキン南蛮弁当の特盛をいくつか注文しましたが食べますか？」とラディッツの問いに答えつつ食事の招待をしたらラディッツもあそこのは好きだから参加させてもらうぜと笑みを浮かべるとベジータも見てけよ量を上回る質の高さで満腹になるところをよよ・笑みを浮かべながら誘うと渋々ながら参加すると答えフリーザも満足そうにしつつ食事をしに向かいラディッツとフリーザは今度の食事会についての意見交換をしつつベジータにも意見を求めたが、料理に関しては詳しくないと断ったのであった。